



## 2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年10月31日

上場会社名 株式会社 魚力

上場取引所 東

コード番号 7596 URL <https://uoriki.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 雅之

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 尾後貴 隆

TEL 042-525-5600

四半期報告書提出予定日 2023年11月14日

配当支払開始予定日

2023年11月28日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	16,358	1.5	458	37.8	768	38.6	538	33.4
2023年3月期第2四半期	16,123	0.6	332	41.8	554	34.0	403	37.1

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 568百万円 (111.9%) 2023年3月期第2四半期 268百万円 (68.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	38.56	
2023年3月期第2四半期	28.92	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	20,217	16,568	81.9
2023年3月期	19,688	16,332	82.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 16,554百万円 2023年3月期 16,318百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		24.00		24.00	48.00
2024年3月期		24.00			
2024年3月期(予想)				24.00	48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,500	5.2	1,430	31.6	1,820	28.3	1,140	42.0	81.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2023年10月31日)公表いたしました「2024年3月期第2四半期累計業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - 以外の会計方針の変更 : 無
  - 会計上の見積りの変更 : 無
  - 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	14,620,000 株	2023年3月期	14,620,000 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	666,309 株	2023年3月期	667,309 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	13,953,057 株	2023年3月期2Q	13,951,449 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の収束や雇用・賃金の増加を受け、対面型サービスを中心に個人消費、また、アフターコロナ期に移行するにあたっての企業の前向きな設備投資を起点に緩やかに回復いたしました。しかしながら、一方で、物価上昇や円安、一部の業種におけるコスト増加による企業業績の悪化、わが国以外の主要各国での金融引き締めをきっかけとする世界経済の減速が懸念されるなど、景気下振れ要因が多く見られます。収束を見通せないウクライナ情勢や中東情勢は、景気の先行きに関する不透明感を濃くしております。

水産業界におきましては、地球的規模で地上からの供給に代わるタンパク質の供給源として、また、国内外において広がる健康志向などから、養殖業を含む水産業、また、水産物に対する注目度は高まっております。しかしながら、海外で高まる水産物需要・わが国では地球温暖化が原因とも言われる不漁による魚価高騰、原油価格上昇に起因する諸コスト増大など、当社を取り巻く経営環境はたいへん厳しい状況にあります。

このような経営環境の中、当社グループにおきましては、中期経営計画（2021-2023年度）の下、チャレンジ（SDGsへの取り組み、日本の食文化の世界への普及など）、仕入・販売、人材、財務といった各事業分野における基本戦略に取り組んでまいりました。新型コロナウイルス感染症への対応については、引き続き、店舗において運営を一層効率化し、感染防止に十分配慮しながら営業の継続・強化に努力してまいりました。

このような中、第2四半期における既存店売上高が第1四半期に続き前年を上回りましたが、これは本格的な物価上昇への順応、雇用情勢改善・賃金上昇による消費者の消費マインド、購買力の高まりによるところが大きいと考えております。

なお、8月末より開始された東京電力福島第一原子力発電所処理水放出につきまして、現状での影響は限定的ながら、今後も推移を注視してまいります。

この間、小売事業で5店舗を出店する一方、2店舗を退店し、当第2四半期連結累計期間末の営業店舗数は95店舗となりました。

この結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は163億58百万円（前年同期比1.5%増）、営業利益は4億58百万円（前年同期比37.8%増）、経常利益は7億68百万円（前年同期比38.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億38百万円（前年同期比33.4%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①小売事業

小売事業では、コロナ禍が収束に向かう中、仕入・物流コストの増加に加え賃上げによる人件費の増加に対応するため、店舗ごとの新たな繁閑状況に応じた人員配置の下、作業オペレーションの統一化など運営の一層の効率化、資材の絞り込みなどコスト削減に取り組みながら、旬を重視し活気ある売り場をつくり商品に付加価値をつけることに努力し、特に寿司の販売強化に注力いたしました。また、仕入においてよりよい商品をより安く仕入れることに努力するとともに、ルートの変換による減車など配送コストの削減に取り組みました。

新店は、2023年4月に各線蒲田駅に隣接する「グランデュオ蒲田西館」内に「グランデュオ蒲田西館店」（東京都大田区）、7月に首都高5号池袋線浦和南料金所南方、新大宮バイパス沿いの「ロヂャース戸田店」内に「魚力市場戸田店」（埼玉県戸田市）、東武スカイツリーライン草加駅の西方、県道103号線沿いの「ロヂャース川口店」内に「魚力市場川口店」（埼玉県川口市）、東武アーバンパークライン大和田駅付近の「ロヂャーススマート大和田店」に「魚力市場大和田店」（埼玉県さいたま市）、9月にJR稲毛海岸駅前の「イオンマリニピアショッピングセンター本館」内に「マリニピア稲毛海岸店」（千葉県千葉市）を開店しております。一方、限られた経営資源の効率的な活用を図るため、2023年6月に「魚力海鮮寿司津田沼店」（千葉県習志野市）、8月に「鎌取店」（千葉県千葉市）を退店しております。

この結果、売上高は137億24百万円（前年同期比4.3%増）、営業利益は5億13百万円（前年同期比28.0%増）となりました。

#### ②飲食事業

飲食事業では、2022年3月期より、各店について店舗運営を担当する店舗管理者とメニュー・調理を担当するシェフとの役割分担を明確化するなど店舗オペレーションの見直しや物流の合理化を含む構造改革に取り組んでおります。このような中、コロナ禍の収束等による来店客数の増加が後押しとなり、売上高は前年に比べ大幅に増加いたしました。一方で水道光熱費をはじめ店舗運営コストの増加が営業利益を圧迫していますが、黒字化まで今一步のところまで来ております。

この結果、売上高は6億86百万円（前年同期比20.1%増）、営業損失は9百万円（前年同期は営業損失44百万円）となりました。

③卸売事業

卸売事業では、子会社の魚力商事株式会社が、米国において既存取引先への販売、また、アジアにおいて新規取引先の開拓に取り組んでおりますところ、新型コロナウイルス感染症の影響の余波により、米国既存取引先での一時的な需要の落ち込みがあり、売上高が前年を下回りました。国内ではスーパーマーケット、地方荷受け向けなど売上を伸ばしております。

この結果、売上高は19億16百万円（前年同期比18.7%減）、営業利益は73百万円（前年同期比25.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は112億18百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億86百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が3億99百万円減少したことによるものであります。固定資産は89億98百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億16百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券が5億24百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は202億17百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億29百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は32億93百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億69百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が1億12百万円増加したことによるものであります。固定負債は3億55百万円となり、前連結会計年度末に比べ23百万円増加いたしました。これは主にその他に含まれる長期前受収益が24百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は36億48百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億93百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は165億68百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億36百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が2億3百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は81.9%（前連結会計年度末は82.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきまして、直近の業績動向等を踏まえ、2023年5月8日公表いたしました通期連結業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日（2023年10月31日）公表いたしました「2024年3月期第2四半期累計業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,118,815	7,719,122
売掛金	2,773,760	2,834,613
商品及び製品	343,748	520,088
原材料及び貯蔵品	9,782	11,230
その他	160,367	133,696
貸倒引当金	△723	—
流動資産合計	11,405,751	11,218,751
固定資産		
有形固定資産	991,792	1,098,492
無形固定資産	26,026	23,959
投資その他の資産		
投資有価証券	5,523,997	6,048,950
その他	1,740,855	1,827,288
貸倒引当金	△250	△250
投資その他の資産合計	7,264,603	7,875,989
固定資産合計	8,282,422	8,998,442
資産合計	19,688,173	20,217,194
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,149,053	1,261,451
未払法人税等	203,988	272,389
賞与引当金	324,599	364,244
その他	1,345,892	1,395,162
流動負債合計	3,023,533	3,293,248
固定負債		
退職給付に係る負債	63,050	59,270
資産除去債務	244,985	241,170
その他	24,000	54,896
固定負債合計	332,036	355,337
負債合計	3,355,570	3,648,586
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,563,620	1,563,620
資本剰余金	1,469,762	1,470,505
利益剰余金	13,589,568	13,792,789
自己株式	△962,059	△960,617
株主資本合計	15,660,891	15,866,297
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	714,244	738,558
為替換算調整勘定	△133	△56
退職給付に係る調整累計額	△56,910	△50,479
その他の包括利益累計額合計	657,200	688,022
非支配株主持分	14,510	14,288
純資産合計	16,332,602	16,568,607
負債純資産合計	19,688,173	20,217,194

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	16,123,295	16,358,501
売上原価	10,013,238	9,849,018
売上総利益	6,110,056	6,509,482
販売費及び一般管理費	5,777,422	6,051,217
営業利益	332,634	458,265
営業外収益		
受取利息	13,742	5,560
受取配当金	117,509	111,084
助成金収入	39,166	—
為替差益	70,329	47,209
投資有価証券売却益	—	151,734
貸倒引当金戻入額	—	723
その他	25,691	17,321
営業外収益合計	266,439	333,634
営業外費用		
デリバティブ評価損	23,396	22,720
投資有価証券評価損	20,200	500
持分法による投資損失	1,110	353
その他	40	—
営業外費用合計	44,747	23,574
経常利益	554,325	768,324
特別利益		
固定資産売却益	139	0
投資有価証券売却益	69,972	—
特別利益合計	70,111	0
特別損失		
固定資産除却損	3,830	543
減損損失	—	11,000
特別損失合計	3,830	11,543
税金等調整前四半期純利益	620,607	756,781
法人税、住民税及び事業税	160,398	238,988
法人税等調整額	54,901	△20,069
法人税等合計	215,300	218,918
四半期純利益	405,306	537,863
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	1,835	△222
親会社株主に帰属する四半期純利益	403,471	538,085

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	405,306	537,863
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△140,334	24,313
為替換算調整勘定	1,835	888
退職給付に係る調整額	1,569	6,430
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△811
その他の包括利益合計	△136,929	30,821
四半期包括利益	268,377	568,684
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	266,541	568,906
非支配株主に係る四半期包括利益	1,835	△222

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	小売事業	飲食事業	卸売事業	計				
売上高								
顧客との契約 から生じる収 益	13,162,443	571,068	2,358,254	16,091,766	31,528	16,123,295	—	16,123,295
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	13,162,443	571,068	2,358,254	16,091,766	31,528	16,123,295	—	16,123,295
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	42,133	42,133	9,300	51,433	△51,433	—
計	13,162,443	571,068	2,400,388	16,133,900	40,828	16,174,729	△51,433	16,123,295
セグメント利益 又は損失(△)	401,608	△44,515	99,388	456,481	17,910	474,392	△141,757	332,634

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、テナント事業であります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△141,757千円には、セグメント間取引消去△9,616千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△132,140千円が含まれております。全社費用は、主に総務・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自2023年4月1日 至2023年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	小売事業	飲食事業	卸売事業	計				
売上高								
顧客との契約 から生じる収 益	13,724,244	686,097	1,916,546	16,326,887	31,613	16,358,501	—	16,358,501
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	13,724,244	686,097	1,916,546	16,326,887	31,613	16,358,501	—	16,358,501
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	22,351	22,351	9,300	31,651	△31,651	—
計	13,724,244	686,097	1,938,898	16,349,239	40,913	16,390,153	△31,651	16,358,501
セグメント利益 又は損失 (△)	513,920	△9,576	73,818	578,161	16,757	594,919	△136,654	458,265

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、テナント事業であります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△136,654千円には、セグメント間取引消去△331千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△136,323千円が含まれております。全社費用は、主に総務・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項  
該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。